

JET からの手紙

浜松の国際交流を支える仕事
～やらまいか精神～浜松市企画調整部国際課 国際交流員
Jungmin Yang (ヤン・ジョンミン)

はじめに

静岡県西部にある浜松市は、ものづくりの産業と音楽・文化が身近なまちです。浜名湖や海にも近く、まちの空気には開放感があります。浜名湖周辺ではうなぎが名物として親しまれ、浜松餃子も市民に根付いた味として知られています。家計調査では、餃子の購入額で浜松市が2024年、2025年と2年連続全国1位となりました。さらに、ヤマハと河合楽器製作所が本社を置き、楽器関連企業が集積していることから、浜松は楽器のまちとしても親しまれています。また、ヤマハとスズキはいずれも浜松で創業し、浜松はものづくり企業の発祥地として知られています。海外にルーツを持つ方も多く、表現の違いが手続きの分かりやすさに影響する場面もあります。

こうした背景のもとで、当市は国内外の関係者と関わる機会も多く、国際課では出張や来訪対応の準備と当日の運営、庁内の



浜松市長による安山市長の表敬訪問時の様子

言語サポート、会議や資料の多言語対応、関係者間の確認や調整などを行っています。私は通訳と翻訳を中心に、必要な情報と言葉を整え、関係者が安心して次に進むことができるよう支えることを大切にしています。

私は2025年8月に浜松市の国際交流員（CIR）として着任しました。国籍はカナダですが、韓国で生まれ、日本や中国、カナダなど複数の国で長い間暮らしてきま

した。日本語と英語に加えて、韓国語と中国語も使います。朝にメールを開くと翻訳依頼が並び、午後は会議で通訳をすることもあります。内容が正確に伝わり、相手が次に進める形に整えることを意識しています。



韓国安山市多文化共生シンポジウム 2025 参加

具体的な取り組みとして、まず通訳があります。2025年9月には韓国への出張に同行し、インターカルチャー・シティ国際シンポジウムで、市長や職員が行う取り組み発表や意見交換を通訳で支えました。資料を読み込み、用語や固有名詞を確認し、壇上でも迷わず伝えられる準備を重ねました。視察先での確認や移動中のやり取り、関係者との調整など、現場で必要になるコミュニケーションも通訳で支えました。同じ出張では高陽市



コンgressでの通訳

で行われたUCLG ASPAC（世界都市・地方自治体連合）の学び合いのセッションにも参加し、気候変動に強いまちづくりに

関する議論に触れました。

また、2025年12月には静岡県が開催した静岡インターカルチュラルシンポジウムに参加し、浜松市としての立場から、



第10回 都市・自治体連合組織アジア太平洋支部コンGRESS参加

壇上の外で海外の専門家とのやり取りや意見交換を通訳しました。意味を落とさず、言い過ぎず、しかし曖昧にしない。そのバランスを意識しながら通訳しています。

次に受入れ対応です。2025年10月に浜松市で都市間連携フォーラムが開催された際は、台北市の副市長やUCLG ASPACの事務局長を含む来訪団の対応に入り、面談や懇談、視察の場で通訳を担いました。公式の場面だけでなく、短い言葉のやり取りにも配慮し、敬意が伝わり、誤解が残らない言い回しを心がけました。

そして日常の多くを占めるのは翻訳です。行政文書は制度や手続が前提になりやすく、直訳では読み手が次に何をすればよいか分かりにくい場合があります。原文の内容を変えずに文を短く区切り、主語と動詞を明確にし、期限や手順、問い合わせ先が埋もれないよう整えます。用語の表記も統一し、必要な場合は担当者に確認して誤解の芽を摘みます。伝わりやすくなったと言ってもらえると、地道な作業が誰かの安心につながっていることを実感します。

また、市民向けの場にも関わります。出前講座では異文化理解や交流につながる話題を取り上げ、参加者が質問しやすい雰囲気づくりにも努めています。さらに多言



浜松&台北都市間連携フォーラム・式後感想交換通訳



同日レセプションMC進行通訳

語相談での健康面に関する内容は症状や不安が正確に伝わるよう支え、相談者が納得して治療方法などを選ぶように努めています。必要に応じて浜松国際交流協会などとも連携し、より交流しやすい場づくりにつながるよう工夫しています。依頼は急に入ることも多く、そのたびに最初に確認するのは目的と優先順位です。一件一件を確実に遂行し、関係者が安心して次に進めるよう支えることを意識して取り組んできました。2025年12月末時点で、翻訳と通訳の依頼対応は約70件でした。今後も出張や来訪対応などの業務が予定されています。準備時間が短くても現場の対話が止まらないよう、確認と整理を徹底していきます。

これからも挑戦を続け、通訳と翻訳で信頼を積み上げ、浜松市の取り組みが国内外に確実に伝わるよう支えていきます。

プロフィール



Jungmin Yang
(ヤン・ジョンミン)

韓国ソウル出身、カナダ国籍。複数の国での生活経験を経て、東アジア研究を専攻。大学の日本語の先生にCIRを勧められ、国や文化をまたぐ意思疎通を支える役割に魅力を感じ、応募しました。4カ国語を存分に生かし、通訳と翻訳で信頼を積み上げ、重要な意思決定を支えられる存在になりたいです。また今後はポルトガル語とスペイン語を勉強したいです。趣味はパズル、ジム、ゲームなど。